



# 菜の花だより

No.34  
2025年 11月

-住み慣れた地域社会で共に生きる-

しょうがいしゃぎゃくたい  
障害者虐待かな?とおも  
ったらご連絡くだ  
さい



えどがわくしょうがいしゃぎゃくたいつうほう  
江戸川区障害者虐待通報ダイヤル

じかんたいおう  
TEL: 03-5662-1014 (24時間対応)  
FAX: 03-3656-5874

しゃかいふくしほうじん えどがわな はな かい な はなさぎょうしょ りょうしゃ かたがた か  
このポスターは、社会福祉法人 江戸川菜の花の会 菜の花作業所の利用者の方々にお描きいただいた絵を  
デザインに採用しています。



# 法人虐待防止部会より

今回、広報部と虐待防止部が連携を図り、本稿の菜の花だよりに虐待防止部の「想い」や「行ってきたこと」を掲載することとなりました。是非ご一読ください。

## 想い

「職員のゆとりが、安心の支援を生む」

私たちは、心の余裕を持てる職場づくりを通して、虐待を未然に防ぎます。  
現場の声に耳を傾け、働く環境と職員一人ひとりに対し両面からアプローチしていきます。

## 目指す姿

「自分から動けば、職場が変わる」

一人ひとりの小さくても前向きな行動が、温かい職場と安心の支援をつくれます。  
虐待防止は、特別なことではなく日々の「**ありがとう**」から始まります。

## アクション



「にやりほっと月間」

相手の良いところを見つけて、認め、  
感謝を伝える取り組み

「温かい言葉で～自分の職場は自分で磨く～」

まず自分から声をかけ、認め、感謝を伝える  
ことを大切にする取り組み



## メッセージ

虐待防止は「人を責める」ことではなく、「**支え合う**」ことから始まります。  
虐待の背景に職員のストレスや感情の負担があるケースは少なくありません。だからこそ、私たちは“安心して働ける職場づくり”を土台に、仲間に寄り添い、思いやりのある言葉で支え合うことを大切にしています。

「**お疲れさま**」 「**ありがとう**」 「**助かったよ**」

その一言が職場を温かくし、利用者が安心して過ごせる環境に繋がります。

私たち法人虐待防止部会は、「職員が気持ちにゆとりを持てる職場づくり」が「利用者 1 人ひとりに寄り添う支援」に繋がることを信じています。



# 取り組み紹介(菜の花作業所)

菜の花作業所では、虐待について「自分たちで考える」「わかりやすく伝える」ことを念頭に、事業所内の虐待防止委員を中心に、職員、利用者、保護者役員などが外部の方も含めた虐待防止ミーティングを年二回実施しております。その活動の一環として、利用者リーダー達からポスター制作をしたい!との声が上がリ、4つのグループでアイデアを出し合い、ここに掲載している色とりどりのポスターが出来上がりました。

リーダーが中心となり、利用者の皆さんだけで仕上げました。その後、障がい者作品展に出展する中で江戸川区権利擁護課の目にとまり、虐待相談ページへの掲示などに採用されることになりました。



わたしたちが  
描きました!





## ほっこりエピソード

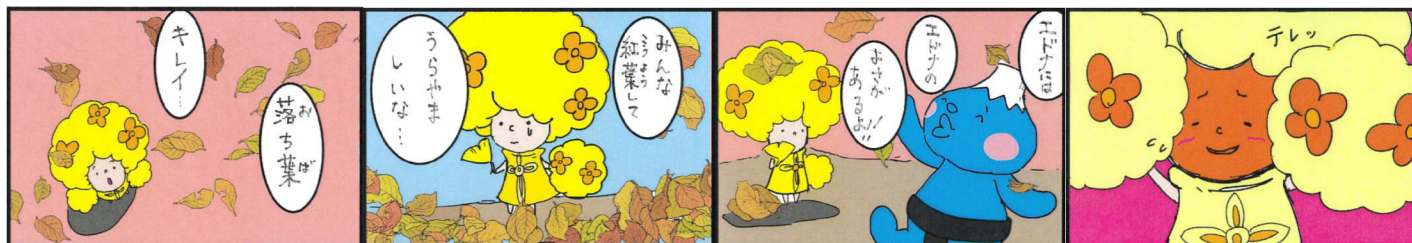
わたしが勤務している就労継続支援B型事業所で働く利用者さんの中に、何事もパターンで覚えて行動される方がいらっしゃいます。事業所での作業もいったんパターンを覚えてしまうと、何時間でもほとんどミスなく一定の速さで行ってくれることが多いです。そんな彼は私が彼の隣で手を洗おうとすると、決まって蛇口をひねって水を出してくれます。そして、目も合わさず、すぐにその場を離れてしまうのです。とても自然な動作で、まるで呼吸のようです。あまりの素早さに私はいつも「ありがとう」と彼の背中に向かって言っています。

それは彼にとっては“いつもの流れ”であるのかも知れません。でも、私はその一連の動作の中に、確かにやさしさを感じます。そこには、見返りを求めるような気配が一切なく、ただ相手を思う純粋な気持ちだけがあるのです。そんな瞬間に出会うと、胸の奥がじんわりと温かくなります。

彼が水を出してくれるたびに、私はある言葉を思い出します。それは娘の学校の理事長が生徒に向けて話されていた言葉です。「迷ったときは、損か得かではなく、善いか悪いかを考えて行動しなさい」と。理屈や損得を超えたところにある“まっすぐな行い”こそ、人の心を動かすのかもしれない。

たとえそれがパターンの一部であっても、その行為の中に確かな思いやりが息づいている。日々の小さな出来事の中で、人のやさしさの本質を教えられているような気がします。

## ●●●●●●●● ほっこり 4 コマ漫画 ●●●●●●●●



菜の花は紅葉しません。しかしエドナはほめられたことで、てれて赤くなることができました。画:黒沼 作:東江

## ●●●●●●●● 活 動 紹 介 ●●●●●●●●

今年度江戸川区立福祉作業所では、余暇活動で家族楽団SON DE CUBA（そんでくーば）さんによるズンバ（体操）をおこなっています。利用者も元気いっぱい！！体を動かして、楽しんでいます。ズンバ（体操）は、毎月本館と分室で開催しています。



### 家族楽団Son de Cuba

～私たちと、私たちの活動について～  
みなさん、こんにちは。  
家族楽団Son de cuba[そんでくーば]です。  
私たちは、少しでも世界にハッピーを届けたい！  
そんな想いで日々活動しています😊



SNSでも活動を  
発信しています！



LAFAMILIASONDECUBA

## 編集後記

今回の編集部は結成されたばかり。未経験者も多くつたない部分もありますが、力を合わせて作り上げました。これからも「見やすく！楽しい！ためになる！」をモットーに事業所や法人の近況をお伝えしていきます。（広報部 I）